

医療基本法に関するアンケート

質問 1-1

今回の衆議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、医療基本法の制定が明記されていますか。

明記しておりません。

質問 1-2

質問 1-1 の回答が、「明記されていない」である場合、その理由を教えて下さい。

患者の権利の保障などの重要性は十分認識していますが、医療基本法について、党として十分に議論ができていないため、今回の衆議院議員選挙における主要政策には盛り込んでいません。

質 1-3

医療基本法に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

医療の提供側と医療を受ける患者も含めた幅広い関係者の議論により合意形成を図ることが重要と考えます。

質問 2-1

今回の衆議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、医療政策の決定プロセスへの患者・市民の参画推進について、記載されていますか。

記載されておりません。

質問 2-2

質問 2-1 の回答が、「記載されていない」である場合、その理由を教えて下さい。

医療政策の決定プロセスにおいて患者などの当事者が参画することの重要性は十分認識していますが、党として十分に議論ができていないため、今回の衆議院議員選挙における主要政策には盛り込んでいません。

質問 2-3

医療政策の決定プロセスへの患者・市民の参画推進に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

医療政策の決定プロセスへの患者・市民の参画推進は重要であると考えております。適切な医療を誰もが公平に受けることができるよう、医療政策の策定プロセスに患者や市民が参画できる仕組みづくりやその支援を行う担当窓口を政府内に設置する等、国民が安心して暮らせる健康長寿社会の実現をめざします。

質問 3-1

今回の衆議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、患者の権利の尊重・擁護について、記載されていますか。

明確には記載できておりませんが、患者の権利の尊重・擁護に資する以下の政策を衆議院議員選挙における主要政策として記載しています。

◇医療・介護・障がい福祉・教育など、生きていく上で不可欠な公的サービスへのアクセスを保障するベーシック・サービスの拡充

◇予防医療の充実による健康寿命の延伸と、国民のウェルビーイングの向上

- ・予防・検診強化で健康寿命を延ばすとともに、重複検査是正・医療DXで医療費を抑制、社会保険料上昇を抑えます。
- ・がんの原因となる感染症など、リスクに応じた検診を実現し、企業検診率向上、誰もが質の高いがん検診・治療を受けられる社会を構築します。
- ・治療を断念したり、生活破綻に追い込まれることがないように、制度を維持しつつ、高額療養費の自己負担限度額の引き上げを見直して、十分に抑制します。
- ・かかりつけ医の制度導入を目指すとともに、かかりつけ医を中心とした新たな地域医療構想の実現に取り組みます。
- ・移動困難な高齢者のために、オンライン診療・モニタリング等で地域医療体制を整備します。
- ・職場・地域で早期発見・治療体制を強化し、心のケアを必要とする人に寄り添ったメンタルヘルス対策を進めます。
- ・保証人のいない単身者が必要な医療を受けられるよう、実効性のある「ガイドライン」の普及とフォローアップを図ります。

質問3-2

質問3-1の回答が、「記載されていない」である場合、その理由を教えて下さい。

質問3-3

患者の権利の尊重・擁護に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

中道改革連合は、ハンセン病問題、旧優生保護法に基づく強制不妊手術等、薬害エイズ・薬害肝炎事件など、過去の深刻な過ちを決して繰り返さないよう強く認識しています。

同時に、すべての患者が安全で質の高い医療を受け、健康と命をしっかりと守れる社会を実現するため、患者の権利を最大限に尊重し、擁護するための仕組みづくりや取り組みが極めて重要であると考えます。そこで、医療に関する政策を提案する際には、患者の権利の尊重・擁護を重視しています。

質問4

わたしたちの医療基本法要綱案フォーラム版に関する貴党の見解を自由に記載して下さい。

ご提案頂いた「医療基本法要綱案フォーラム版」を参考としながら、質問3-1で回答した政策の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

質問5

冒頭に記載したとおり、2019年2月に、その制定に向けて超党派の議員連盟が結成されているところですが、なかなか議論が進まず、今日まで具体的な法案が示されていません。近年、議連の集まりも開催されていないようです。

わたしたちは、医療基本法制定に向けて、従来の議連に代わる新たな議員連盟が必要ではないかと考えています。

医療基本法制定に向けた、新たな議員連盟の結成について、貴党の見解をお聞かせください。

これまでの議論の経緯や現状を踏まえつつ、現実的で実行可能な議論を進めることが大切です。そのため、党派を超えて幅広い関係者の意見を丁寧に集め、合意形成を図りながら、建設的に検討を進めていくべきです。

今後の状況を見極めながら、新たな議論の場や枠組みについても柔軟に検討していく必要があると考えます。

ご協力、ありがとうございました。